

上下水道事業

安価で美味しい高島上水を守り、  
高すぎる下水使用料の引き下げを！



森脇 徹 議員

**答** 事業の効率化を図っているが、  
現状は厳しい

**問** 人口密度が低い高島市で水道事業の独立採算を求める事に無理はないか。

**答** 土木上下水道部長

上水道施設以外に簡易水道と飲料水供給施設を含む41施設が点在しているため、運営経費が高くなる傾向にあります。上水道と一体的に事業運営し効率化を図っていますが、厳しい状況です。

**問** 開業経過は、今津上水道は31年、高島上水道は53年でも健全だ。高島、新旭共に琵琶湖水面からの取水だが、新旭東部簡易水道は急速濾過、高島と今津上水道は砂でこす緩速濾過だ。

**問** 経営見直し10ヶ年計画で27億円の改修事業がある。内8億円で新旭東部簡易水道を統廃合する事業が予定されている。その内容は。

**答** 土木上下水道部管理官  
新旭東部簡易水道を新旭西部・中部簡易水道に統合することで、施設の維持管理経費の削減を図るものです。

また、新旭地域は赤潮等の影響で生臭い湖面水を取水しやすい位置にあるが、今津地域の取水位置は、湖底で湧水が出る付近だ。

**答** 企業債では市民が使用料で負担を負う。市民は納得しない。市の公共事業として、一般会計から繰り入れ、独立採算の中期計画にある水道代の24%値上げを抑えるべきだ。

**答** 土木上下水道部長

合併特例債の活用も考慮しなければなりません。独立採算のもと企業債の活用を踏襲します。

**問** 流域下水道高島処理区の高すぎる維持管理費負担金、高島市下水道使用料は、どのような経営努力をすれば負担金引下げと、下水料金引き下げで市民負担が軽減できるか。

**答** 土木上下水道部長

本来、下水道使用料は適正な原価の範囲で定めるのが原則で、支出の増加が見込まれるため、運営状況は厳しく、下水道使用料を改定する状況にはありません。

**問** 汚泥処理費が5年間で約4億円、これを削減すれば市民負担軽減に繋がる。県外処理を市内の農地堆肥に再生利用する先進事例に

学び実施計画を検討せよ。高島処理区で汚泥を堆肥化できれば処分費の大幅削減ができて一石二鳥だ。県と相談してできないか。

**答** 土木上下水道部長

県へ提案し研究していきます。



▲打下浄水場



▲今津浄水場

その他の質問

●学校再編方針